



埼玉のぞみの園 広報誌



発行 社会福祉法人埼玉のぞみの園 埼玉県深谷市本田3343 発行責任者 理事長 榎澤正範

千葉県の社会福祉法人様へ【施設見学】 ～人材確保・定着～



11月7～8日の2日間、千葉県にある社会福祉法人福祉楽団様と社会福祉法人フラット様へ施設見学に行ってきました。今回は「人材確保、定着」をテーマに埼玉のぞみの園の魅力を再発見することを目的に、希望職員12名が参加しました。1日目の福祉楽団様では恋する豚研究所（レストラン）、栗源協働支援センター（就労継続支援A型）、栗源第一薪炭供給所（就労継続支援B型）、杜の家なりた（特別養護老人ホーム、放課後等デイサービス、保育所等）を見学させていただきました。

2日目のフラット様ではフラットヴィレッジ（レストラン、就労継続支援A型、B型）、手塩宿（生活介護）、フラヴィキッズ（児童発達支援）、ホームしろい（共同生活援助）を見学させていただきました。どちらの法人様もそれぞれの魅力があり、たくさんの良い刺激を受けてこられたと感じています。ありがとうございました。

今回の施設見学を通じて参加した職員から人材確保や定着に向けての様々なアイデアが出ております。法人理念を再度共有しよう、採用活動への意識を変えていこう、委員会や育成担当を充実させていきたい、人材マネジメントのスキルが必要だ、キャリアルートや人事制度をより良いものにしていきたい、ICTを積極的に活用していきたい等、それぞれの意見を整理してできるところから取り組み、ご利用者をはじめ職員から選ばれる法人になれるよう一丸となって進めていきたいです。

(総務部 笹間)



新人職員紹介



柳克伸 (やなぎ かつのぶ)
配属：相談支援センターのぞみ
●趣味・特技
旅行
●私の推し
大谷翔平
●意気込み
精一杯頑張ります。



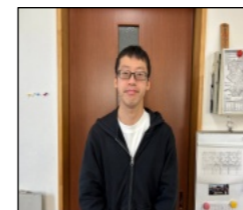
伊藤雄介 (いとう ゆうすけ)
配属：のぞみの園ホーム
●趣味・特技
海釣り、魚を捌けること
●私の推し
藤井聡太
●意気込み
無理せずほどほどに。

勤続10年を超え、管理者となった職員へインタビュー



のぞみの園ホーム
所長
小林小百合

- ①自分はどんな新人だったと思いますか？
若さもあり不安な新人だったと思います。上司・先輩の丁寧な教えがあり、NC対応などその時自分が出来ることを一つずつこなしていました。
- ②管理者になって環境や気持ちはどう変化しましたか？
不安はありますが、一緒に働く職員に助けてもらい、少しずつ管理者としての在り方を見つけれられています。事業所全体の事を考えるようになり、責任の重さも日々実感しています。
- ③後輩や新人に向けて一言お願いします。
失敗を恐れず色々な事に挑戦して下さい。失敗してもきっと上司・先輩が助けてくれます！応援しています。



生活支援サービスのぞみ
(デイ) 主任管理者
内田雅文

- ①自分はどんな新人だったと思いますか？
若さゆえに何事にも勢いだがむしゃらだったと思います。学生時代から法人内でアルバイトをしていたので、あまり新人感はなかったかもしれません。
- ②管理者になって環境や気持ちはどう変化しましたか？
ご利用者の事だけを考えれば良かった所から、事業所全体の事を考える事が増えました。不安もありますが、事業所内の職員達に助けてもらいながら頑張っています。
- ③後輩や新人に向けて一言お願いします。
やりたいこと・楽しい事をたくさん提案し、楽しく仕事をしてもらいたいと思っています！

スタッフ・ボランティア募集のお知らせ



【募集内容】
正職員、パート、ボランティア
詳細は総務部までご連絡ください。
【連絡先】
(電話) 048-594-6511
(メール) info@nozominosono.jp

安全委員会の取り組み

本法人の取り組みとして【法人安全委員会】があります。目的は、事故防止のための啓発運動。各安全基準等への確認。衛生管理者が勤務先の施設等を点検し、その内容を報告し合う場となっています。

今回は法人安全委員会が新たに活動として取り入れた「5S活動」についてご紹介します。



深谷たんぼぼで行なわれている5S活動の一部紹介致します。木工班では荷物を持ったご利用者が多く往来することから赤いラインで作業スペースと歩行スペースを区分けし、また中央に完成品を運搬することで動線の確保をしています。

住宅金具班では職員の不在が多いことから自分達で作業が進められるように部材の配置を工夫しています。

トイレにはモップとスプレーが常備されており、職員が率先して清掃することを促して清潔を保持しています。(宮尾)

きらっとさんインタビュー

今回ご紹介するのは、生活支援サービスのぞみ(デイ)の田島小春さんです！デイでの事、好きな物等イラストを用いて質問してみました！



Q好きな食べ物は？

- 柿
- チーズたっぷりのグラタン♡ (デイの様子から)

Qデイでの好きな活動は？

- 音楽・公園ではブランコが好き

Qよく聴く歌は？

- レットイットゴー (アナと雪の女王)

田島小春さん、ありがとうございました！かわいい笑顔と人懐っこさでこれからもデイを楽しんで欲しいと思います！次はこれを見ているあなたの番かも…!?

(田畑)

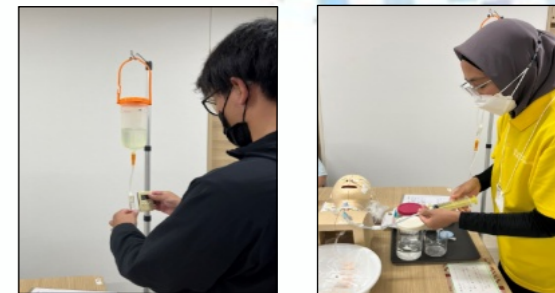
ケアスクールのぞみ ~医療的ケア編~

8月から始まったケアスクールのぞみのスクーリングですが、9月後半から「医療的ケア」に突入し計3回の講義を受けました。喀痰吸引や経管栄養について看護師である先生のもと、細かく実践形式で学びます。観察項目や手順を覚え、マネキンを使用し何度も繰り返し実践しました。

医療的ケアは1つでも間違えると命の危険を伴うことから皆さんとても真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。グループ内でも「ここはこうだよ」「もっとこうした方が良いんじゃない？」など積極的な声もありとても充実した講義になったと感じています。

そして10月には全課程の受講と試験が終了いたしました。12月には修了証書が各受講生に届き、1月には筆記試験があり合格すれば晴れて【介護福祉士】となれます。合格発表は3月！受講生の嬉しい報告がとどきますように。(深谷たんぼぼ 松)

【医療的ケア】実践の様子



修了証書を受け取りました。

塗り絵コラム

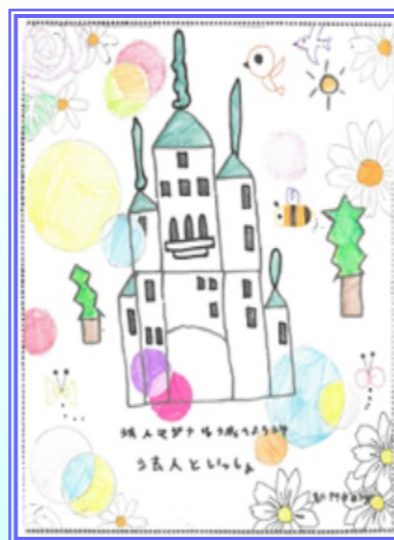
今回も沢山のご応募ありがとうございました！皆様、自分なりのマジカル城に塗って来ていました。

理事長に決めていただいた、優秀作品を1つご紹介です！作画1名、塗っていた1名には優秀賞の品をお送りします。お楽しみに☆



40号塗り絵の優秀賞をもらったたんぼぼ金谷さん

第2春日園 三村裕華さん 背景までメルヘンに仕上げてくださいました！



←第42号の塗り絵は、第2春日園 関根政男さんに、描いていただきました。締め切りは2025/3/31(月)まで！

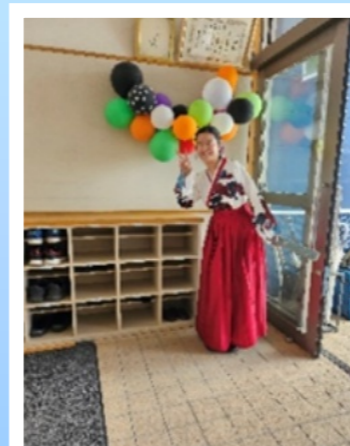
ご利用者・職員・ご家族・地域の方、どなたからでも大歓迎！ぜひ塗ってみてください！応募お待ちしております！作品は、各事業所の広報委員へお願いいたします。

つくしま祭り HALLOWEEN 2024 開催

10月19日に妻沼つくし祭りを開催いたしました。総勢280名程の方に来所していただき、多くの方に楽しんでいただけたのではないかと考えております。催し物は、地域の方や職員のお子さん、知り合いの方も多く参加してください、また模擬店も新たな事業所や近隣の企業からも参加があり大変感謝しております。更に、ご家族等のボランティアの参加ありがとうございました。

私は、妻沼つくしに勤務して初めての祭りでしたが、多くのご利用者が準備段階から関わってくれていることに驚きました。テントや椅子等の備品を近所の小学校にお借りする際も一緒に行き、階段を上り下りしながら備品を運んだり、つくし室内でも装飾作りを行ってくださったり、ご利用者と職員が共に協力しながら行っている姿を見ることができました。地域や関係者の方に感謝しながら、まずは主体であるご利用者に楽しんでいただき、社会とのつながりをこの機会に持っていただけたら幸いです。

妻沼つくし 施設長 鯨井昭二



『 地域へ 社会へ 』

酷暑の夏がやっと過ぎ、早くも冬の到来でしょうか。けやきの葉が北風に舞っています。

厚生労働省は令和2年9月に出された通知の中で、これからの人口減少や複雑化・多様化する福祉ニーズへの対応、また非常災害時における事業継続のために、社会福祉法人の合併や大規模化によって、経営基盤を強化する必要性を掲げています。社会福祉法人には地域における公益的な取組がその責務として位置付けられていますが、それに向けて福祉という枠を超え、例えば農福連携の様に他分野と連携していくことさえも進みつつあります。

法人では平成19年4月、自立支援法施行を契機として、妻沼つくし・たけのこ作業所(現、妻沼つくし)と合併し運営を開始しています。これによって、熊谷市北部の利用者様のニーズに対応させて頂くとともに、法人としても、その後の活動領域を拓げる足掛かりとなっています。また、法人内の相談支援センターのぞみでは、業務の幅を広げるために他法人相談事業所との業務連携を検討しています。更に、県北地域では民間参入等もありグループホーム(GH)が供給過多になるほど開設されているようです。おかげ様で法人内のGHはほぼ満床に近い状況ですが、聞くところでは、諸々の事情により運営継続が困難なGHもあるようで、他業者へ譲渡されるケースも出てきているとのこと。このように、連携、合併、譲渡という様々な形をとることで経営基盤を強化し、諸々に変化する社会情勢や福祉ニーズ等に対応すべく、埼玉のぞみの園も変化していかなければならない時なのです。



理事長 榎澤 正範

新たなチャレンジはどのようなケースでも様々なパワーを必要とします。先日、法人中堅職員数名が千葉県にある先進的な取組をされている福祉法人2カ所の見学研修に出向きました。詳しい報告はまだ受けていませんが、①社会福祉法人としての確固たるポリシーがある、②変化する社会情勢や福祉ニーズに対応していく、③地域にアピールできる魅力を持ち発信する、といったような共通項があるようです。まさに埼玉のぞみの園が歩んできた道、そして歩もうとする道と合致しています。

利用者様を安心安全という名のもとにただ囲い込むのではなく、もちろん安心安全を確保したうえで、法人として地域社会へ一歩踏み出す勇気と覚悟が必要のようです。

あすなろ福祉財団様より表彰されました

— おめでとうございます! —



馬場玉吉職員

「表彰いただきありがとうございました。定年後から未経験で始めた仕事で心配もありましたが、好きなことを行うことでお役に立てているのであれば嬉しいです。お世話になっているみなさんに感謝申し上げます。」



富田邦子職員

「入居者の方たちとの関わりのなかで、貴重な体験や勉強をさせて頂くことが多くありました。

これからも何でも話してもらえ世話人を目指したいと思えます。周りの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。」

ホーム映画

11/23(土)に、ご利用者12名と職員4名で熊谷イオンに映画鑑賞へ出かけました。意外にも映画館に初めて行く!という方も多く、わくわくで出発♪

映画前に昼食を済ませ、4チームに分かれて映画を堪能しました。観終わると、皆さん良い笑顔で感想を言っていました。

その後は百円均一で買い物をしたり、ゲームセンターで遊んだり、時間いっぱい最後まで楽しみました。



春日園・第2春日園 秋フェス

11月16日(土)、コロナ禍以降5年ぶりに「心に花を」をテーマに第2回秋フェスを開催致しました。

●ステージ●
地域の方の重忠踊り・大道芸・法人ご利用者のダンスなどが披露され、大変好評でした!今回は各事業所や地域施設様の他に、3台のキッチンカーに来て頂き、とても大人気で行列をなしていました。

●展示コーナー●
春日園では書道・華道等の作品を、第2春日園では木工作品の展示もしました。また、写真コンテストも開催しお客様にご投票頂きました。

●遊びのコーナー●
曙プレーキ様のボランティア4名のご協力を受け、輪投げ・型抜き・スーパーボールすくいや缶バッジ製作をしました。



抽選会では豪華賞品が並び、地域の方からも喜びの声を頂きました。時間は3時間と、以前よりは規模を小さくしたお祭りではありましたが、大盛況で幕を閉じました。

のぞみデイ遠足



11月9日(土)、のぞみデイ26名、春陽の里8名で東武動物公園に合同遠足として出掛けてきました。

動物園ではエサやり体験を楽しんだり、ホワイトタイガーを見たりして楽しみました。

遊園地では大人顔負けの絶叫ジェットコースターにチャレンジするご利用者もいました!気持ちの良い秋晴れの中、それぞれが充実した1日を過ごすことが出来ました。良い社会体験にもなったと思います。(田畑)

深谷たんぽぽ旅行

例年、深谷たんぽぽの旅行は日帰り・一泊の2種類♪今年度の旅は日帰りさんは海(江の島)でクラゲに癒され、一泊さんは山(栃木)で間近に見る動物に感動してきました。

さらに一泊旅行の1日目にはエルム福祉会が運営する【hikari no cafe】でお洒落なランチを頂き、その後は同じ法人内の事業所である【エルムの園】でお話を聞くことで今後の活動のヒントを頂いたり職員にとっても実りの多い旅行になりました。(宮尾)

